

科目名		授業形態	担当教員名	
内科学 I		講義	呂 重濱	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
本講義では、内科の主要な疾患とその治療などについて理解することを目的とする。具体的には各臓器の解剖、生理に関する知識の復習を行い、主要疾患の病態生理、病理、症状、治療方法、予後などについて学習する。				
授業の到達目標				
1. 代表的な循環器疾患について、その病態生理、症状を説明できる。 2. 代表的な呼吸器疾患について、その病態生理、症状を説明できる。 3. 代表的な消化器疾患について、その病態生理、症状を説明できる。 4. 代表的な血液疾患について、その病態生理、症状を説明できる。 5. 代表的な代謝性疾患について、その病態生理、症状を説明できる。 6. 代表的な内分泌疾患について、その病態生理、症状を説明できる。 7. 代表的な腎・泌尿器疾患について、その病態生理、症状を説明できる。 8. 代表的なアレルギー疾患について、その病態生理、症状を説明できる。 9. 代表的な感染症について、その病態生理、症状を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	内科学とは、内科的診断と治療の実際、症候学			
2	循環器の構造と生理機能、疾患の病因病態、主要な症候、臨床でよく見られる疾患：高血圧、虚血性心疾患、不整脈。			
3	弁膜症、先天性心疾患、大動脈疾患、心不全。			
4	呼吸器の構造と生理機能、病因病態、主要な症候、臨床でよく見られる疾患：肺感染症、慢性閉塞性肺疾患。			
5	間質性肺炎、気管支喘息、肺腫瘍、呼吸不全、肺性心。			
6	消化器の解剖と生理、消化器疾患の主要な症候とその病態生理、食道疾患、胃腸疾患。			
7	肝胆膵解剖、生理、検査と診断法、肝炎、肝硬変、肝癌、胆嚢炎、膵炎、膵癌など。			
8	血液の成分と生理、血液疾患の主な症候、検査法、よく見られる疾患：貧血、出血、血栓性疾患、白血病、DICなど。			
9	代謝調節の生理と病態、臨床でよく見られる代謝性疾患：糖尿病、脂質異常症、痛風など。			
10	内分泌腺の解剖、生理と病態、よく見られる疾患：視床下部、下垂体の疾患、甲状腺疾患、副腎機能異常による疾患。			
11	腎、泌尿器の生理と病態、検査法、臨床でよく見られる疾患：糸球体疾患、腎不全など。			
12	免疫のしくみ、生理と病態、アレルギーの発症メカニズムとアレルギー疾患、主な膠原病及び類縁疾患。			
13	感染症の概念、各病原体の感染特徴、臨床症状、検査方法と診断方法。			
14	細菌感染、ウイルス感染、真菌感染による疾患など。			
15	復習			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	60%	試験の結果によって評価する。		
レポート				
小テスト	30%	問題を解答してもらい、その結果によって評価する。		
平常点	10%	授業態度や予習復習によって評価する。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学 第3版	前田眞治・上月正博・飯山準一	医学書院		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
ハリソン内科学 第5版	福井次矢監訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル		
病気が見える シリーズ 最新版	医療情報科学研究所	メディックメディア		
自由記載				
備考				